

進路だより ～ 中学生のみなさんへ ～

No. 3 2015.

先月末は、中間試験、学力テストと続き大変でしたね。 連休中にリフレッシュできましたか？
実は、期末試験まであと1ヶ月ほどです。今年最後の試験を悔いのないものにできるよう頑張りましょう。

◆中学生の学習習慣が高校での伸びを左右する！

★3教科の基礎は中学にあり★

ここでいう「積み残し」とは、国語・数学・英語における各分野別成績の正解率が30%以下のものをいいます。

たとえば、A君の場合（高校2年秋の成績）

国語全体の正解率 65%（分野A 30% 分野B 45% 分野C 90% 分野D 25%）
数学全体の正解率 40%（分野A 40% 分野B 80% 分野C 0% 分野D 40%）
英語全体の正解率 50%（分野A 65% 分野B 15% 分野C 70% 分野D 25%）

⇒ 積み残し個
数

3教科での積み残し個数が4個以上あると、伸び悩む傾向がある！
積み残し分野をそのままにせず、3教科の基礎のバランスを整えよう！

★中学生のうちから習慣づけよう！「宿題+α」★

「宿題だけやればOK!」と思いませんか？

また、「予習はするが、復習はしていない」という人が多いのではないのでしょうか？

成績上昇者の多くは、「宿題だけでなく、必ず復習をする」と回答しています。

指示された課題に加えて、自ら学習できるようになろう！

えっ、まさか宿題や小テスト準備もやっていないなんてことはないですね…。

★学習時間の目標 中3～高3まで伸び続ける生徒の特徴

3年生秋	平日 70分	休日 130分	(Sゾーン志望者)	平日 80分	休日 140分)
4年生秋	平日 90分	休日 150分	(Sゾーン志望者)	平日 100分	休日 170分)
5年生秋	平日 110分	休日 180分	(Sゾーン志望者)	平日 120分	休日 210分)

高校で伸びるかは、
中3での学習時間
がポイント！

◆どこまで知っている？2020年大学入試制度改革

★1年生が大学受験を迎えるときから新制度になります★

何が変わるの？ どうすればいい？

大学入試センター試験の廃止

① 基礎学力評価テスト（仮称）

- ・ 基礎学力や学習の到達度を把握することが目的。
- ・ 高校の「必修科目」の内容が修得できているか
- ・ 高校3年だけでなく、2年でも受験できる
- ・ 大学入試で利用することも想定されている

② 大学入学希望者学力評価テスト（仮称）

- ・ 大学入学を希望するものが対象。
- ・ マーク式ではなく、記述式の解答方法の導入
- ・ 「教科型」に加え、複数の教科内容に関係した内容の問題を組み合わせ出題される「合教科型」「総合型」の試験
- ・ 1点刻みでなく、10段階の段階別評価になる予定。
- ・ 「知識や技能」も必要だが、「思考力」「判断力」「表現力」が評価の中心。

★13歳からできること★

国語・・・文章の要約練習。幅広いジャンルの読書習慣。自分の考えをもって議論できる力。

数学・・・厳密な記述力、論証力を高める。どのような変化にも対応できる基礎力。早く正確な計算力。

英語・・・自分の意見を英語で表現することが目標。中学修了時点で4000語を目安に語彙力をつける。基本例文は早いスピードでも聞き取れるようになる。

◆3年生へ ～大学調べを始めましょう～

10月22日（木）に実施された講演会で、「適性検査」の結果を受け、これから大学調べを始める必要についてお話がありました。聞いたことのある大学はあっても、「学部」「学科」となると知らないことが多いことに気づいた人も多いのではないのでしょうか？ 配布された「進路の手引き」や「大学のパンフレット」等を利用して調べ始めましょう。

★1年後の今★

高校1年の夏から秋にかけて大学・学部・学科を調べた上で、文系、理系のどちらの方向に進学するか選択が迫られます。文理選択は、大学進学を見据えた上で行うべき、大変重要な選択です。これから1年間かけて、時間をかけてじっくり考えましょう。

2年生も他人事ではありません！
急に入試が変わるわけではありません。変わる年の前年は、変化の兆候が大きいのが特徴。油断禁物！

各教科で求められる学力の変化

③ 英語4技能中心の入試

TOEICなどの外部試験を導入する流れは、今後ますます増える。

④その他

国語 文章やグラフ、他者の発言内容を理解し、要約する力。問題点に気づき、分析して意見を述べる力、全科目の知識やテーマに対応できる幅広い教養。

数学 難関大は英語を使って数学を考える問題や化学との融合問題など科目横断型の出題の可能性あり。

☆科目の好き嫌いを
無くす
☆記述力を高める。
☆早い段階から英語の
4技能をバランス良
くを高める。

知らない選択肢からは選べません！ まずは、知ることから始めましょう！

参考 身の回りの生活に活かされている学問について知識を深めましょう！

経営学をひとつとって考えてみても、いろいろな学問内容があります。

たとえば、みんなも利用するコンビニエンスストア。
店内にいる人の立場も年齢も性別もバラバラ。
それぞれの心の声に経営学のヒントがあります。



店長



これは「**マネジメント**」

忙しいよー
バイトのみんな、シフトに入っ

24時間365日営業している以上、日曜の深夜やお正月でも常時働いてくれる人を確保しなくてはなりません。店長さんはアルバイトの人との良好な人間関係作りや魅力的な職場環境づくりをしてやる気アップを図るなど、涙ぐましい努力が必要なのです。

大学生



これは「**新規ビジネスモデル**」

ああ、100円でこんなに贅
沢な気分になれるなんて、

本格的な味が評判となり、大手1社だけで年間6億杯以上売り上げるというコンビニの100円コーヒー。原価率が低いので、低価格でも利益率があり、デザートなどと一緒に購入してくれるので、客単価がアップ。女性顧客も獲得でき、メリットづくし。

OL



これは「**消費者心理学**」

レジ横の20円チョコが
私を誘惑しているわ



レジに並んでいるとき、思わずレジ横の商品に手が伸びてしまったことはありませんか？大福やチョコはお手頃価格で魅力的。しかも「並ぶ」という手間をかけているので、買える時に買いたい衝動に駆られてしまいます。店内を一周してもらおう配置も！

主婦

最近のコンビニ各社では「プライベートブランド」を展開しています。その魅力は何と言っても、値段。また、自社ブランドとしているだけに、味や産地などにもこだわりがあります。家族はもちろん一人暮らしにもうれしい手頃なサイズと品ぞろえ。



今日の夕食、さぼっちゃおう

これは「**商品開発**」

コンビニ社員



夜は弁当が売れているな。
多く仕入れて、売り上げ
アップだ！

これは「**マーケティング**」

コンビニのレジでは精算以外にも、いつ・どの商品が・どんな人に売れたのか等を記録する「POS システム」というシステムが導入されています。そのデータを分析することで、来客者の年齢層やニーズを把握でき、何を仕入れ、いつ・どのように売るかという戦略を立てることができるのです。

サラリーマン



♪あなたとコンビニ〜♪
つつい、歌っちゃうな

これは「**イメージ戦略**」

CM等で流れるコンビニ各社のキャッチフレーズは、イヤでも記憶してしまうほど覚えやすいのが特長。制服も視覚的に覚えやすいデザインが採用されています。各社とも、他店と差別化するブランドイメージを必死に創り上げているのです。

女子高生



表紙の洋服、超カワイイ
欲しいなあ☆



これは「**ファッションビジネス**」

実は、ファッションの流行は、ファッションビジネス業界の仕掛け人によって操られているのです。例えば、流行らせたい服をファッション雑誌の人気モデルに着用させるのも手法の1つ。読者に「流行る」と刷り込むことで、計画的に流行を作りだし、ブランド各社はリスクなく生産・販売できるのです。

本部スタッフ

屋の売上げが伸びないな
昨年のデータと比較してみよ

どんなに小さな店舗でも、売り上げなどの数値管理は必要不可欠。それにより経営状況が把握できるため、売り上げ不振や業績好調の原因を探ったり、物流システムを見直して無駄な経費を削減するなど、明確な経営戦略を練ることができます。



これは「**管理会計学**」